

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2011-178936(P2011-178936A)

【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2010-46026(P2010-46026)

【国際特許分類】

C 08 G 63/02 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 63/02

C 08 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月3日(2012.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

合成例9 液晶性ポリエステル(B-2)の合成

攪拌翼、留出管を備えた5Lの反応容器にp-ヒドロキシ安息香酸759.7g(5.5モル)、4,4'-ジヒドロキシビフェニル419.0g(2.25モル)、テレフタル酸560.7g(3.375モル)(4,4'-ジヒドロキシビフェニルの1.5倍モル当量)、酢酸ナトリウム0.30g(得られる液晶性ポリエステルの0.02重量%)および無水酢酸1051.5g(系の全フェノール性ヒドロキシ基に対して1.03当量)を仕込み、窒素ガス雰囲気下で攪拌しながら145℃で2時間反応させた後、395まで1/分で昇温した。その後、395℃で0.5時間保持し、1.5時間で1.0mmHg(133Pa)に減圧し、更に60分間反応を続け、トルクが21kg·cmに到達したところで重縮合を完了させた。次に反応容器内を0.1MPaに加圧し、直径10mmの円形吐出口を1個持つ口金を経由してポリマーをストランド状物に吐出し、カッターによりペレタイズした。